

日本近代音楽の基礎を作った 「音楽家」下總皖一の業績

(1898～1962)

作曲家としての下總皖一

「たなばたさま」「花火」「野菊」「ほたる」などの曲は、下總皖一の曲として有名ですが、氏の作曲分野は極めて幅広く、合唱曲・器楽曲・協奏曲や校歌など、多岐にわたっています。

また箏の曲、三味線の曲など日本の伝統音楽についても作曲し、その数2,000曲とも3,000曲とも言われています。



〈晩年の愛用ピアノ〉



音楽理論家としての下總皖一

昭和9年、ドイツ留学から帰って、翌10年に著した理論書「和声学」は、ドイツでの恩師パウル・ヒンデミットから称賛されました。

その後次々と理論書を著し、「作曲法」「日本音階の話」「作曲法入門」「楽典」「音楽理論」「対位法」など日本の近代音楽の基礎を作ったとされています。「和声楽」の神様とも言われています。

音楽教育家としての下總皖一

東京音楽学校を首席で卒業した下總皖一は、各地の学校で教鞭をとりました（女子師範学校・各地の師範学校・小学校・女子高等師範学校など）。

また、留学から帰国後は母校の東京藝術大学（当時東京音楽学校）で教鞭をとり、昭和31年に音楽学部長に就任。数多くの素晴らしい音楽家を育てました。



引用元：加須市資料「日本の近代音楽の基礎を作った下總皖一」

下總皖一 音楽賞募集

令和7年度



「作曲家」「音楽理論家」「音楽教育家」として日本近代音楽の基礎を作ったといわれる埼玉県加須市出身の偉人、下總皖一。

その精神を受け継ぐ、県にゆかりのあるプロの音楽家の方を表彰します。素晴らしい音楽家の推薦をお待ちしています。

募集期間

令和7年

7/4金～9/26金

主催

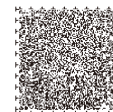


埼玉県

共催



加須市



音声コード
Uni-Voice

令和7年度 下総皖一音楽賞 募集要項

候補者

音楽文化の向上に貢献している埼玉県ゆかりのプロの音楽家

●作曲家

クラシック中心に出版・演奏された複数の優れた曲がある方

●音楽理論家・音楽評論家

音及び音楽に関する諸現象について優れた研究・発表を行っている方

●音楽教育家

音楽大学等で音楽教育に携り、指導法や後進の育成に秀でている方

●演奏家

優れた演奏活動（邦楽を含む。）を行っている方

●上記以外の分野で、優れた活動を行っている方

本県出身の方や県内に在住・在学・在勤など、本県ゆかりの方を御推薦ください。
(過去に在住・在学・在勤したことがある方も可)

部門

●音楽文化発信部門

国内外で幅広く活躍され、今後、更なる活躍が期待できる方

●音楽文化貢献部門

長年にわたり、本県の音楽文化の向上に貢献されている方

推薦方法

個人又は団体からの推薦（自薦はできません。）

「令和7年度下総皖一音楽賞推薦書」及び「同候補者調書」に御記入の上、
「応募先」まで御応募ください。
様式は、埼玉県のホームページからダウンロードすることができます。

下総皖一音楽賞

検索



なお、推薦に当たっては、必ずしも候補者の了解を得る必要はありません。

【推薦できる個人】 音楽有識者

【推薦できる団体】 国・地方公共団体、大学、埼玉県内の高等学校、
音楽イベントを行う団体など

応募締切

令和7年 9月26日(金)

選考

選考委員会の審査を経て、埼玉県知事が決定します。

表彰

令和8年1月又は2月に表彰式を行う予定です。
受賞者には、賞状と記念品を贈呈します。

応募先

埼玉県県民生活部文化振興課 文化振興担当

電話：048-830-2887

E-mail：a2875-04@pref.saitama.lg.jp

※E-mailで御応募ください



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまもち」

令和6年度下総皖一音楽賞受賞者

《音楽文化貢献部門》



金山 茂人 KANAYAMA SHIGETO

音楽事業（オーケストラ運営、音楽界振興）
所沢市在住

東京交響楽団や日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟などの要職を歴任し、日本のオーケストラの発展、演奏家の地位の向上等に多大な貢献を果たしてきた。
また、県内の文化施設や楽団の設立・運営、音楽家の顕彰事業なども含めた音楽界の振興に長年にわたり尽力し、本県の音楽文化の向上に貢献した。

《音楽文化発信部門》 ※該当者なし